(日刊) (明治四十年十一月十三日 第三種郵便物認可)
明治四十年十一月十三日 京城新報 (水曜日) 第四號 (一)

# 京城新報

●新聞料 ▲一部二錢 ▲一ヶ月前金卅五錢 ●三ヶ月前金 ▲六ヶ月前金貳圓 ▲郵稅一ヶ月金拾五錢
●廣告料 ▲五號活字十九字詰一行一回金三十錢 ▲四號活字十四字詰一行金四十五錢
●發行兼編輯 印刷人 山下
●[illegible] 十月八日
發行所 京城西部西小門通 京城新報社 電話六六三

論說

## 輿論の價値（續）

武陽山人

第一、勢力の方面より見たる價値

言論の自由結社集會の自由を與へざる專制國家と雖も全然輿論の發生を禁厭すること能はず輿論の發生は自然的なり水の低きに就くが如し禁壓其度を超ゆれば堤防一時に壊れて終に革命の血を見ずんば止まざるなり況んや言論著作印行集會結社の自由を認めたる民主團体、立憲政体に於ける輿論は最も有力にしてあらゆる政治問題社會問題最終の決定者也よし輿論にして眞理と合せざることありとするも尙ほ其勢力は之れを認めざるべからず如何に手腕ある政治家も如何に經驗に富む事業家も輿論に耳を傾けずして成効すること能はず

第二、眞理の方面より見たる價値

有力なるもの必ずしも眞理にあらず只多くの場合に於て眞理に富むものは多く勢力に富むと云ひ得べきのみ此の如く輿論の勢力は其眞價と一致せざることあるを以て危險なる輿論の發生も時として免かるべからざることあり輿論に耳を借さゞる政治機關の下に於ける輿論が一も二もなく常態として政府に反對するが如きは即ち其適例にして決して喜ぶべき現象にあらざるなり畢竟健全なる輿論の發生は國家機關と人民との協力に依るの外なきを信ぜんとす輿論に抑壓を加ふるの不可なるは勿論其眞價に顧せずよく之れに注意し誤てるものは之れを矯し足らざるものは之れを補ひ國民をして百般の問題に對し考察研究するの趣味を生ぜしむるに務めざるべからず民は依らしむべし知らしむべからずと云へる思想は專制治下の遺風に過ぎず決して我立憲君主政体に用ゆべからざるなり之れと同時に國民は常に智育の發達に怠らざるのみならず德性の涵養に注意し雷同を離しみ感情に走らず常に社會の出來事に注目して獨立したる理性の判斷を下すの習慣を養はざるべからず斯くて發生したる輿論は其勢力の大なるのみならず其眞價も亦多かるべきを以て其國家の隆盛に力あるべきは余の信じて疑はざる所なり韓國の近時に就き新報の餘白を借りて所感の一端を讀者に質す

## 一年雜記

### 李兄弟前時代と後時代 下

朴内閣に於ける學政、長官は、頗る都合好き位置なりき、李完用氏は伴食大臣の名ありしと雖ども、其實只だ傍觀せるのみ、只だ沈默のみ、何か口實あれば其面前に於て挑戰書を送くるを期したるものは軍部大臣李根澤氏であつた。

彼は靜かに歩調を整へ、其伯氏李久用を平式院長に推擧し、其門下中より二三の青年を登用し、曾て辛酸を嘗めて出世を約したる僚友の大半は退けて顧みることすら爲さず、時に南村接近の道路を成べく頻繁に來往するに力めて居つた。

共力一致は施政の方針なりと訓戒されても、元來共力一致せざることに相排斥せる朴内閣の潮流は、時として波濤激して學部の一角を破壞せんとする、彼は教育視察と稱して、或時は鴨綠江を溯り、歸途沮江の私營を謀り、或時は南韓に舟を浮べて漢城の波瀾靜まるを待ち、或時は冠を懸けて東京漫遊を企てんとした、然れども是れ彼の策略なるのみ、彼は南山の麓を自由散步する間は尤も安全なる保險を得たるを自信したのである。

其間に於て宮廷の陰謀團は、各自に狂言を演じつゝ初年の暮に於て李根澤は突然退職となつた、朴内閣の警報臺は著しき低氣壓を掲示されしに拘らず、大雨沛然として降り、天氣回晴となりしは頗る痛快である。

李容翊を追放し、玄映運を放逐したる漢城第一流の政權家は、茲に自ら其地位を退くに至りしは戰場の循環理勢であつたのであろう、朴内閣は聊か世望を負ふて新政を開くべく豫期されたが、意外なる謀叛は李址鎔氏の野心であつた、彼は朴首相に荷ふ處の交誼あるに拘らず、自ら首相の地位を圖りしために、波瀾翻然として起り、李根澤氏の回復勢氣と合同し、終に朴内閣は總辭職となつた、朴齊純氏は實に此挾擊によりて戰死したのである。

此波瀾の跡を引受くべき首班大臣は誰の手に落つる乎、眇たる學政長官は散步道路に於て内閣組織の大命を受けたりしは大なる政略の報酬である、彼は勞して多智なる漢城策士を打破して今や天下一の總理大官となつた。

## 内外煙草製造集散商况

（財政顧問部調査）

●龍仁 京畿道安山郡及果川郡地方は從來殆んど全葉のみ喫煙せし趣きなるも現今到る處に紙卷煙草の小賣店あらざるはなく店頭に最も多く見受けるは米國製兩切大數印、金魚印、日本官煙スター、リリー、上海村井製ヒーロー及日本官煙朝日等にして一小賣店一ケ月の賣高は六圓乃至十圓內外なり

●全州 外國煙草としては日本製朝日最も多く日韓人に消費せられ次にヒーロー及蒲州は韓人のみに消費せられ其他敷島、大和土耳其紙卷、マニラ葉卷、日本製刻は極めて小數の日本人に消費せらる

内國產烟草は每市三百包乃至一五〇包（一包百聯）の取引あり其他仲買人の手を經て轉賣せらるゝもの月四百包內外の取引あり製造賣にありては每日三四百匁內外烟草を手刻し各店頭に併列し當市內の需要に充つるのみにして他方人は聯の儘にて購入し去る

●松禾 ヒーローの賣行最も多くオールドは少しく輸入減少せるに似たり地產烟草は農家の持品漸く減少し爲めに騰貴せるか如し（未完）

文苑

## 佳羅丹之幾

玉井南軒

炭竈

秋は今世に炭がまの甲斐なくて
　心細くも立つ煙かな

男の琴に妙なるを見て

荒磯海の岩が根に生ふ男松にも
　琴のしらべの通ふゆかしさ

朝凝をいましむ

百鳥の朝いせぬ耻芽出度けれ
　よしやねぐらを急ぐと言ふ共

心れはき女に寄する

一方に風は吹け共西東
　南北なくゆくほかけぶね

戀になやめる女をみて

葉柳のうらに隱れて聲もなく
　何を螢の身を焦かすらむ

わたましせる友に

千代と嘀く雀の聲も愛らしき
　軒端たづねて巢をやくむらむ

偶感

文机の花さしかへて朝まだき
　書よむ計たのしきはなし

小說

## 紋のみだれ（二）

永井櫻園

入口近く進み寄つて、標札を眺め入つた青年は二十四五の、色の青白い鼻筋の通つた背のスラリと高い男で、煤ぼけた標札を左顧右眄して、漸く「黒川勇五郎」と讀み下して、口の中で二三度繰返した上、立去らうともせず、猶も其まゝ家内の樣子を立聞くのであつた、すると家内では、

「何が悲しうて泣くんだ、何んぞと言ふと泣きさへすりや宜いやうに、クス／＼クス／＼と、カラ喧しい、チヨツ」

と、舌打して勇五郎が咳んで吐き出したやうに云ふ。

「どうぞ、今夜だけはモウ堪忍して下さいな、私が惡いからこの通り謝罪つてるぢやありませんか。」

と、お縫が泣聲に云ふ。

「いゝや、言ふだけの事は言ひ聞かせないと、私の腹の虫が承知爲ない……もう聞かなくツても解つてる、馬鹿云へ貴樣のやうな不孝娘に何が解つてる、同じ事を百万遍言ひ聞かさにやア、親の有難さが解るやうな奴ぢや無い。抑も……」

と、一段と聲高く言出せば、

「お父樣、後生だから、モ少し小さい聲で言つて下さいな、モウ深更もある近隣へ對しても体裁が惡いぢやありませんか。」

「極の惡いやうな事は誰が言はせるのだ、私が聲の大きいのは、近隣で知らないものは無いから、管うものか、抑も貴樣は何んと心得て居るか知らないが、生の親より養育の親と云つて、チヤンと昔から相場が定つて居る、殊に貴樣の兩親と云ふのは、貴樣がまだ二つ三つの歲に死んで了つて、今ぢや貴樣は此家より外は鬼の死んだのと同一事で、何處へも往場が無いのだ、其頃丁度隣同志に棲つて居つたので、貴樣の母親が臨終の時に、どうぞ此子の事を與れ／＼も賴むと、手を合して賴むから、死んだ嚊が可愛相だと云つて貰つて遣つて、屎甕の世話から何から何まで世話をして、嚊が死んでからと云ふものは商賣しながら私が手一つで育て上げて早く甘い酒の一杯も飲めるやうに爲たいばかりに、朝から晩まで古道具を賣出して、僅かな口錢の中から貴樣を師匠の所へ通はして、盆暮の祝儀から、ソレ五行本だ、ソレ三味線の糸だ、ソレ溫習會があるから何が要る、紅だ白粉だ油だと、九歲の時から足掛八年と云ふ今年まで、一方ならん資本を入れて、義太夫が旨いとか世辭の一つも世間の人樣が言つて下さるやうになつたのは、誰のお庇でなつたんだ其の大恩も忘れやがつて一日中の疲勞癒しに飲む酒を、酒店が寢たから我慢しろとは何と云言草だ。昔から物の道理を習ひながら、其の道理の解らん奴を、論語讀の論語知らずと云ふのだ、論語知らずと、貴樣のやうな奴が矢張其の論語知らずだ、貴樣が今溫習て居つた義太夫の文句が解らんか、大馬鹿者奴が、僅か十一や其許らで、盲目の親の手を引いて、大雪の積つた中を孝行してるぢやないか、其事を思ふたら横町の酒店までぐらゐが何だ、少し氣の利いた娘なら貴樣の年齡になりや寄席に出て、親の力になるものは何程もある。其年齡になつて寄席にも一つ能く出てやうな意氣地なしが何になる、首でも縊つて死んで了へ。罰當奴が。」

お縫は、養父が酒機嫌の惡い時は、何時も極つたやうに述ぶる小言が、身に沁み／＼と可厭なので、其度每に泣くより外に爲すべき術はなかつた。今も世間を憚つて袖を嚙締めて泣いて居るのである。

先刻より入口に立つて樣子を窺つて居つた青年は、此時足音を偸むで往來に出たが、

「可愛相なもんだね。」

と、同情の辭を後に、何れにか去つて了つた。




# 福引抽籤御披露

豫定の通り十一月十日福引抽籤の結果左の如し

| 福引番號 | |
|---|---|
| 一等 | 二三六番 |
| 二等 | 九九六番 |
| 三等 | 四五八四番 |
| 四等 | 一〇六番 |
| 五等 | 六七〇番 |
| 六等 | 四六四一番 |
| 七等 | 七〇四番 |
| 八等 | 四四六八番 |
| 九等 | 六四〇番 |
| 十等 | 三五五〇番 |
| 五百等 | 二五一五番 |

右廣告仕候也

月　日

辻屋本店　電話二四八番

# 皇太子殿下の御料用牛乳

弊場は韓國牛種改良模範を以て任じ東西洋の學理と實驗とに徵し最も完全なる設備を施し南大門外萬里峴上の高地を相し純良粹なる乳牛數十頭と牡牛を輸入したるは韓國斯業の嚆矢なり爾來益々研究を重ね改良を加へつゝありたる其効空しからず

畏くも今回御行啓の皇太子殿下御料用に奉供するの光榮を擔ひたり該牛乳「ホルスタイン」早崎號は當局小山技師、田中獸醫其他の詳密精細なる檢査を經て御採用相成りたる次第なり斯の如きの大光榮を擔ひ致す所なりと雖も又た平素御愛用を辱ふせる諸賢の御同情に因らずんば非ず弊場は更らに進んで精選改良を加へ愛用諸君に酬ゆる所あらんとす茲に皇太子殿下御料用の思命ありしを拜謝し且つ告すると同時に御愛用を蒙りし諸彥に感謝す

謹

京城南大門　荒井牧場

江華郡江華島第三　荒井牧場　取次電話一一七

冬物新荷着

大島幷に絣都染珍柄冬物
東京香取屋下駄
東京中島屋下駄
其他貴婦人用化粧品いろ／＼
出し致し候處皆々樣の御引立に預り例年に
なき上景氣に候間賣出しの御禮として來る
十二日より十五日迄正札より五分引仕り候
間何卒例に比し賑々敷御來店御購求の程伏
而奉希候

本町三丁目　大曲吳服店（電話百二十五番）

京城新報

# 金利の前途

頃者雨後の筍の如く續々として增加するものは貸金業者なり、之を京城に見るに大小の會社と個人私人とを合算せば、恐くは其數五百以上なるべし、新來の渡韓者先之を營み、舊來の居住者本業を廢して之に移り、大なるもの小なるもの、男子も女子も競ふて其資金を此業に集注せんとす、若し局外者をして單純に觀察せしめなば誰れか不思議の感を起さゞるならん

市中の金利は月二分五厘乃至五分を唱へ質屋の利子は月一割と稱す斯く法外に金利の高率なるは即ち斯業の繁盛を致し貸金業者の增加する所以にして、一度經濟の原理に想到せば、何人と雖も當然起るべきの現象たるを知るに難からざるべし

而れども今日の高率なる金利は永續すべきものなるや否、之斯業者の豫め研究考慮すべき要問なるべし、帝國と韓國との金融は一昨年貨幣制度改善の時に於て已に共通の端緒を開き、爾來帝國の資金は漸次韓國に流入して公私の經營に放下せられ欠けるを充たし足らさるを補ひ以て金利低落の趨勢を馴致し來り、現に銀行日步の如き往日五錢內外を示したるもの今は三錢內外の低きを見るものあるにあらすや、此趨勢を持續して進まは金利の前途は知るべきのみ、益々低落して帝國內地の利率と大差なきに到るへきを、

果して而らは多數貸金業者の將來は樂觀すへきにあらすして寧ろ悲觀せさるを得さるものなり、吾人は此等多數の斯業者に向つて今俄かに方向を轉換して他の營業に移れと強ひさるべきも、金利低落の大勢を解得して徐ろに善後の方策を立つるの得策なるを勸告すると同時に新たに資金を韓國に放下せんとする人士に對しては農事、山林、水產、商工等の基礎根底の堅實なる事業を撰ばんことを勸むるものなり

## 殖民政策の實力と形式

京城の發展を觀て半島全部に於ける我民族の膨脹も斯くあるべしと想像するは大なる誤也見るべし僅かに五六萬より十萬の增殖あるのみ、之を一千餘万の韓人口に比しては滄海の一粟のみ。

利益を開放し、移殖を簡便にし、餘り多くの律文と取締を爲さざるに於ては勇敢なる我民族は他の御世話無くとも次第に發展すべし實力の扶殖に輕くして形式の粉飾に重きは當地殖民政策の一大欠點なり

## 自由信仰の發表

韓國に於ける宗教問題は、仲々面倒なる問題なり、稍もすれば韓國人民は之を利用して外交事件に變粧し國際事件に製作せんとす。

吾人は之を解決するに餘り多くの勢力無くして實行し得らるべきを確信す、是則世界の宗教者に對して絕對なる公平なる自由開放を爲すにあるのみ、斯くして起るべき敎案あらば何の逡巡なくして解決し得らるべし、各宗各派をして信仰の自由開拓を爲さしむること上々の好政策たり當局者にして此雅量あらば外敎徒をして誠實なる我帝國の朋友ならしむ難からず

華盛頓電報

## タフト卿旅程變更の議

（十一月十一日發）

米國政府は陸軍卿タフト氏の旅行豫定を變更せんかとの議あり故に同氏の倫敦、巴里等を訪問するや否やは未定なり

東京電報

## 帝國議會召集

（十二日發）

帝國議會は十二月二五日を以て召集する旨詔勅を發せられたり

## 勞働大臣來着

（十二月十二日發）

加奈太勞働大臣は昨日橫濱に到着せり

## 移民事件交涉

（同上）

加奈太勞働大臣は明日外務員を訪問し即刻移民事件の交涉を開始する筈なり

雜報

## 韓皇遷宮道筋

昨紙所報の如く韓皇皇后皇太子の遷宮はいよいよ本日午後一時三十分大漢門出御布德門前を經て鐘路に出て二時敦化門より昌德宮に入らせらるゝ由なり

## ●大赦詔勅

皇室及犯國事犯罪人は現今及開國以來の者をも合せて悉く釋放するとの韓皇の詔勅降れるが何を意味するにや

●昌德宮の修理　宮內大臣李允用氏は韓皇に向つて期間短かゝりしため修理完全に出來ざりし旨言上したりと云ふ

●參與官會議　參與官會議は一昨日午前九時より統監邸樓上の會議室に於て開會曾根副統監を始め石塚、鍋島、小宮、倉富、木內、岡、俵の各參與官出席せり

## 憲兵の事務擴張

從來我在韓憲兵は或る一部の取締を爲すに過ぎざりしが今回韓國政府より一般人民の保護をも爲し吳るゝ樣統監府へ依賴し來りたるを以て其の事務は自から擴張せられたり

## 第三回憲兵入京

特務曹長以下憲兵若干名一昨十一時京城分隊に到着せり

## 暴徒京城附近を徘徊す

昨十一日午後八時頃山巡檢李德柱東大門外を巡回中徽慶園（距東大門七八丁）の山間に韓兵の服裝をなしたる者五名銃器を携へ焚火をなしあるを認め之を誰何したるに却てこれに捕はれ揚州郡退溪院に拉去し今朝に至り放還せり又同時刻警視廳刑事巡檢文哲準の宅（東署管內巡山第五牌東大門を距る約一里）に約十名の暴徒闖入し同巡檢を拉して退溪院に至り終に之を銃殺せり

李巡檢歸還の途次文巡檢の宅に立寄りたるに文巡檢を殺すべしとの書面を遺棄しあるを發見したり警視廳はこの內報に接し直に偵察隊を派遣し嚴重に搜索中なりといふ

## 廣州方面の賊

十一月五日暴徒來襲の急報により同地の警察は廣州守備兵四名と共に廣州郡細村面獨店に出張せるも暴徒を見ざるより尙進んで搜索したるに五日午前暴徒十二名（內五名鳥銃携帶）慶安面直洞李鳳雲方に喫食したる後慶安西峙洞に向つて去る又四日午前鳥銃携帶の暴徒五名突馬面隱洞李千五方に喫食一泊し一進會員李公模（六十年）外六名を拉し五日午前慶安面直洞に向へりと云ふ

## 順川方面の賊魁

各種の情報を綜合するに順川方面に於ける暴徒の數は約五百名を下らざるが如し巨魁は柳義庵と稱し江原道の出生の儒者にして十數年來平安南道各郡に於て子弟の敎育に從事したることありといふ又順川郡池面出生呂錫李者も暴徒中の重位にあり本人は郡內に於ける勢力家にして曾て廣民會なるものを組織し數百名の會員を有し性質剛愎不遜の排日者なり而して暴徒の出沒は德川郡龍島面孟山郡北倉地方に波及せり

●暴徒の投降　過般暴徒の群に投じたりし原州江原の解隊兵五名は去る十月廿四日同三十一日五名何れも銃器彈藥携帶の儘投降せるを以て取調の上原州守備隊に引渡す

●暴徒堂與を蒙る　五日午前三時頃義兵と稱する數名の賊各自銃を携へて振威郡五朶面乾坤里店居住者文東旺方に侵入し汝は日本兵の間諜につき捉へ行べし所有する現金悉皆をも提出すべしと威嚇したるも東旺は現金の所持なき事を答へ畜牛一頭と共に拉し去られたり而して東旺は同家西方約四里の地即ち水原郡安五味の山中に抑留せらるゝこと二晝夜に及たるも隙を窺ひ逃走して自宅に歸來したりといへり尙ほ同人の語る所によれば安五味の山中は賊の根據地なりと思料せらるゝと、又風說によれば四日午前一時頃振威郡七院附近に於て水原居住の黃元（廿八）と崔某なるものか同郡ヨオジョウルと稱する地を通行中義兵と稱する强盜約五十名に出會せしに賊は兩人を擁して頻に投降を勸誘したり此時黃元一はこれを拒みし爲めに亂打せられ己むを得ず其の群に投したり然れとも同夜陽城郡カルミと稱する村落にて賊の一群か村民の畜牛を强奪せんとする其の隙に乘し逃れ歸りたるも後ちまた其の群に投したりといへり

## 海洲自衞團組織

十月廿七日安岳分派所に於て日韓人自衞團を組織し郡守以下郡內の重なる者集會し左記事項を議決し即日より實行せり

邑內樞要の場所に見張人を配置し警戒せしむると

一在留民二名宛分派所內にありて見張人監督及邑內偵察に從事すると

一暴徒襲來の際は便宜の方法を以て急報すると

一宿屋飲食店內に投宿する者に就き面長又は洞長に於て視察を加へ不審の者あるときは直に屆出すると

●鎭南浦稅關工事落成式　豫て建築中なりし鎭南浦稅關工事は此程愈々落成を告げたるを以て來る十七日之が新築落成式を擧行する由尙京城よりは稅關工事部長臨席すべしと

## ●平壤の礦務所煉炭

官營の煉炭は臺灣樟腦の如く一手引受人を定めソレに販賣委托するものゝ由なるが引受希望者等ば同所主事佐瀨軍醫に向て目下志望開申中なりと云ふ

●日英米鑛業トラスト　東京某資本家及英米の資本家より成る韓國鑛業トラスト近々組織せらるべし其詳細は追て報導すべし

## 龍山民團議員撰擧の結果

龍山居留民團議員撰擧に就ては同地居留民間に種々なる感情の衝突あり遂に民友正義の二派を生じ互に激烈なる競爭を行ひ此間にありて或る不利益を圖りたるものもありたりとは吾人も耳にし亦た心ある人の苦々しく思ひし所なるが同撰擧も愈よ一昨日無事終了せりと其結果は左の如し

村井　甚七（民）　兼古　磯藏（吏）
三木　熊之助（吏）　莊司　章（吏）
德久　米藏（民）　木村　稔（吏）
松本　彌藏（民）　加藤　重四郎（中）
渡邊　五郎（民）　矢野　熊四郎（民）
執行　猪太郎（吏）　今本　丑太郎（中）

以上の如く民正兩派とも五人宛の議員を出したるも此兩派勝負の分るゝ所は中立の二人にありと云ふべし尙ほ吏とあるは現民長代理大村氏を民長に推さんとする者にて民とあるは民友派にして之に反對の議員なり

●仁川土地交換委員　仁川佛國敎會堂下土地と民團所有地の交換問題は其後彼我數度の交涉を重ねたるが昨日午後四時より民役所樓上に於て委員會を開き今後の交涉案件等につき審議せる筈尙右委員會の結果によりては來る十五日臨時民會を開く事となるべし

●朴泳孝氏の歸城　朴錦陵尉は近々濟洲島より歸城する旨或方へ通信ありたりと云ふ

●梅博士の來京　韓國政府の法律顧問として傭聘されたる梅博士は一昨日來京天眞樓に投宿し昨日統監邸を訪ひたり

●ステブンス顧問　同氏は元のベルキー領事宅へ數日前轉居せられたる由なり

●吉本赤十字病院長　韓國赤十字病院長吉本潤氏は從來韓人に向て施療に勉められつゝありしが今後尙一層施療を有効ならしむる爲め目下準備中の由なり

●石川少佐の出發　石川少佐は昨日仁川發二番列車にて仁川出發開城に赴任せり

●滿期兵の歸朝　韓國駐剳軍の五十、五十一、五十二、各聯隊の滿期兵五十八名は本日仁川出帆の京城丸にて歸朝せり

●目賀田男に韓人從行　過日歸朝せし目賀田男に從ひ天一銀行重役趙鎭泰漢城銀行總務長韓相龍の二氏渡日したる由なり

●宮中伺候者　一昨日の慶運宮の伺候者は合計九十八名にして其重なるものは侍從李喬永平理府會侍從尹求侍從院卿閔丙奭侍從院副卿李會九侍從朴善斌吉閔丙同趙閔等にして德壽宮へは計九十三名なり

●石川少佐送別會　既報の如く仁川守備大隊長の氏は開城へ引揚ぐる事となれるに依り一昨日午後六時より富田民長、新原會頭、足立民會長、和田觀測、宮本稅關、染谷副理事官、野口一銀、岩佐署長、橫山助役等は八阪樓に於て送別の宴を催ふしたり

●民長の記者招待　仁川富田民長は昨日午後七時より仁川各新聞記者及通信員を自宅に招待し小宴を催せり

●商船の安東縣終航　仁川大阪商船支店の安東縣終航は過日仁川出帆の漢江丸を以てせしが時候順柔のため本日大阪出帆の能登丸を以て終航となす由因に能登丸は十五日仁川發の豫定なりと

●韓米の大連輸出　本日仁川出帆大連行の信濃川丸は二千叺の韓米を積載せり

## 名譽授賞者姓名（續）

| | | |
|---|---|---|
| セメント | 東京府 | 淺野總一郎 |
| 朝日、エビス、ヱビース、札幌 | 東京府 | 日本麥酒株式會社 |
| 刺繡及友染 | 京都府 | 飯田　新七 |
| 友染各種 | 同 | 西村治兵衞 |
| 陶器各種 | 同 | 錦光山宗兵衞 |
| 磁器 | 佐賀縣 | 香蘭合資會社 |
| キリンビール | 神奈川縣 | 明治屋 |
| 淸酒櫻正宗 | 兵庫縣 | 山邑大左衞門 |
| 燐寸 | 兵庫縣 | 日本燐寸株式會社 |
| 同 | 同 | 良燧合資會社 |
| 淸酒菊正宗 | 同 | 加納治郎右衞門 |
| 淸酒白鶴 | 同 | 嘉納治兵衞 |
| 綠茶 | 靜岡縣 | 紅茶業聯合會議所 |
| 醬油山サ | 千葉縣 | 濱口合名會社 |
| 同ヒゲタ | 同 | 田中　玄蕃 |
| 花崗耐火煉瓦及土管 | 岡山縣 | 備前陶器株式會社 |
| 酸類及副產物アルカリー製品 | 山口縣 | 日本舍密製造株式會社 |
| 紙類各種 | 高知縣 | 土佐紙合資會社 |
| 織物 | 京城 | 宋　鍾　憲 |
| 骸炭 | 大阪 | 舍密工業株式會社 |

●京城樂友會第三回音樂　京城樂友會第三回音樂會は左の趣旨に依り愈本月二十二日、三日、四日の三日間京城歌舞伎座に於て開催することに役員會に於て決議し目下準備中なり「プログラム」は兩三日中に發表の由定めて盛會なるべし

京城樂友會第三回演奏會開催の趣旨

京城樂友會生れて僅に半歲演奏會を開くこと玆に二回然るに今や會員の數百余名の多きに及び基礎漸く緒に就かんとして前途隆運の躍動するを見るこれ啻に會員同志の努力に依るのみならず併せて江湖の深厚なる同情を得るにあらさるより安そ能く斯の如きを得んや

聊本會は演奏其のものを以て終極の目的と爲すにあらずして之に依り純潔高雅なる娛樂の道を求め自ら優美の觀念を養ふて益趣味の向上を圖らとするにあり即ち藝ある者は未た藝なき者、親子、夫妻、兄妹、朋友さては老若男女の別なく渾然として相奏し融然として倶に舞ひ以て自ら樂み他を慰むも是れ實に本會の生命にして又在韓同胞の齊しく翹望する所なるへしと信す

見よ昨夏以來倭將臺奏樂の擧あるや每回常に聽衆の山を築けり以て如何に在留同胞の趣味に渴けるかを想察し吾人は深く軍隊の厚情を感謝すると共に樂堂の設備なき爲樂士諸君が無數の聽衆圍繞せられて凉を納るる由なく流汗淋漓而も肅然として樂器を操るの高風を見るに及び同情の念轉た禁ずる能はざるなり然るに世間未だ嘗て是等の事に關し計劃せる者あるを聞かず於是乎本會深く自ら鑑みる所あり敢て微力を顧みず率先之が救濟の策を立てんと欲し今般演奏大會を開催して大に世の仁人君士に訴へ其の收入を擧げて吾居留民團に寄與し以て倭將臺に一つの奏樂堂を建設せしめ尙は餘剩あらば本會の備品として樂器を購入し益斯道の研鑽を勵み常に社會の陣頭に立ちて趣味の普及向上を計らんことを期す焉時や白露地に滿ちて閑樂の好季なり冀くば生等同志の微衷を賛し奮つて來會あらんことを祈る　敬白

明治四十年十一月　京城樂友會會長　熊谷賴太郎

▲小學生徒の旅行　京城小學校高等科三四學年生五十一名は岡田訓導外三四名の敎員と共に當地出發其夜八時着平壤小學校職員舍宅に投宿翌七日朝來降雪午後に至り積る事約一寸許大同江畔より牡丹臺に登り水道工事乙密臺箕子廟等を巡覽す此の間降雪烈風特に甚敷若林平壤小學校長は地形を指點し詳細に戰爭當時の模樣說明あり正午日語學校長の周旋にて晝飯を喫し再び七星門の古戰場及普通門兵營地普通口新市街を跋涉して歸宅せり、翌日則八日降雪甚しからず前日來の激變したる氣候なれど幸に病人も出でず午前九時より無烟炭發採所を見るため大同江を渡りて發す歸途舟橋里の古戰場弔ひ午後自由散步を許したり此回の旅行中遊谷民長代理、若林校長及び眞藤日語學校長は非常の周旋と優遇とを受け特に生徒爲めに布團風呂等の寄贈あり其他龜屋支店及森久支店等よりも寄送品を受けたるは一同の感謝したる所なり

●一銀支店の運動會　仁川一銀支店員は再昨十日の日曜に行員一同家族を引連れ萬石洞八景園に於て運動會を催したり

●小學生の修學旅行　仁川小學校高等科四年生二十五名は敎員引率の下に本日仁川發開城へ同學年二十二名は平壤方向へ修學旅行をなせり

## ●郵船長の郵便法違反

仁川郵船會社支店長近藤勝之助氏は過日基隆同支店にあてたる信書七十八通を小包郵便となし發送したるを郵便局の看破する所となり告發せられたるが昨日仁川理事廳に於て罰金二圓に處せられたり仁川第一流の紳士とは大概こんなものなのか

●本日の博覽會福引　博覽會にては昨日の福引意外の好況を呈したるを以て本日は更に景品を良くして終末の博覽會を盛んならしめんとの考へなる由なるが博覽會掉尾の策としては此上なき良策なるべし

●京博審査の通諜　京城博覽會にては先日の褒賞授與式に全部の發表をなす能はざりしも今明日中にはそれぞれ出品者へ通諜すべしといふ

## ▲治外法權▼

世界の表面で朝鮮人と性格の上に於て拮抗し得る者は多くはない樣だが虛言ツキの點に於て見榮坊の點に於て御世辭の上手な點に於て將陰謀好の點に於て中米小共和國の西土混血國民は能に片やの相手として稱することが出來る法權子往年中米に遊んで實際を見たから此言をなすのである▲中米國民は遣口はよくも朝鮮人に似通つて居る殊に米國に向て喜劇的なることを遣る點に於……て而れどもルーズベルトの鐵腕には威服されて居る樣である近き未來に於て星條旗は到底彼等を包ますには置くまいと思ふ▲中米在留の合衆國人等は是等中米人を呼ぶに神の忘れられた國民なる稱を以てして居る此中米人に酷似して居る朝鮮人は果して神に棄てられて居ようか▲併し神はヨボを忘れても伊藤公は彼等を忘れることは出來ぬソレは列國の眼も朝鮮人も今や公を目するに半島の救世主を以てして居るからである▲所で救世主は十字架に付けられ孔子は陳蔡の野に餓させられたヨボは吾伊藤救世主をドウする積りであろうか▲併し吾伊藤侯はヨボの虛言やれ世辭に乘せられ拜み倒される樣なれ方でないから我々は安心だがヨボたるものは少しく心して此新救世主を拜むが良かろうと思ふ▲話しが橫道に外れたが神は滿更忘れて居られぬものと見ゐて今や米英佛の多數の宣敎師を此國に置て朝鮮人に向て福音を宣傳せしめて居る、肉の救は伊藤公靈の救は宣敎師ドッチへコロンデも朝鮮人は救はれずには置かれぬ……併かも入費はドッチも本國からの持出しである▲此多幸なるヨボ國民が肉と靈に躊躇がつて今や何を爲しつゝありやは救世主さいあまり御存じない樣である

## 一日一筆

▲仲居　旦那さんは宛でドラ猫の猛時だヨ見ッともない手金筋で萬事妾しの胸三寸す

▲娼妓　じやイッソ一思に好い覺悟だ電光一閃サッと散らした行燈の紅葉仲居は吃驚

▲牢玉　「好いた殿御」ぢやないか覺ねの罪い見だ手と烟管でポカリ可憐相に泣ッ面

▲淫賣　時世時節と諦めしやんせ牡丹も菰着て冬籠り滅相な牡丹見に行く獅ッ鼻カ子

▲封間　八八は手前の名で親の代からヨイショ、ホンと斯んな樣な寸法に行く家業で

▲權妻　見付かッたら百年目馬鹿に此人は腮殘だは邪れは鼠ぢやないか自烈ッタイ手

▲男妾　奧樣た櫛を搔き付けましよかた召は此れでた褌はハイ々々れ早られ歸りませ

## 大連通信 十一月五日發

▲露國寺院引渡 元露國寺院にして現今大連高等尋常小學校と爲り居れる南滿洲鐵道會社脇の校舍を始めとし市内阜頭附近の寺院、露西亞町の六角堂、逢坂町手前の露人墓地の四箇所は元來宗教上の私設建築物なれば戰爭によりて所有權の移轉すべき性質のものにあらずとて過般より在京露國公使が外務省に對し還付方を要請せし結果我が外務當局に於ても旨を諒とし我國に於て前記小學校舍を新築し其竣成を俟ちて四箇所共露國に還付する事を承諾したるより在京露國公使は之を在北京露國公使に移牒し在北京露國公使は更に之を將來の管理者たるべき北京鐵道會社長大僧正エミースコフ氏に通じたるより同大僧正は去金曜日役僧アルセマンドリツト、アブラアモ氏を來連せしめたるにつき昨四日當市駐在露國領事は同氏を伴ない民政署に到り田中土地係及通辯の案内にて如上の各寺院墓地を巡廻し引渡後に於ける保管修繕上の撿分を爲したるが此建築引渡と同時に露國に還付すべき性質の建築物旅順にも三箇所ありといふ

▲清兵馬賊と戰ふ 一昨三日其筋に達したる報道によれば去月三十日午前八時頃双廟子附近三道溝に於て清國官兵四十騎は馬賊三十四名と衝突し猛烈なる銃火を交ゆる事約三十分に亘り輕傷者二名馬匹二頭の傷死したるものありしに係らず馬賊三名を射殺し且若干名に負傷せしめ其潰走するに乘じて追擊し賊の頭目青山、副頭目九山並に部下大得順を擒にし馬匹六頭、露國小銃二日本小銃二を鹵獲したる趣なるが此衝突の結果同地方の農民にして曩に馬賊の爲めに拉し去られ居たりし張、候、曹の三名は清兵の手にて救ひ出され賊は蘇家屯方面に向つて逃去せりと又此馬賊軍中に頗る滿洲の事情に通曉せる一露人ありしが逃走の際清兵の爲めに捕はれ倍償金を出して放還せらるゝ事となりたるに係はらず清兵は倍償金を納付する迄は放還せずとて非常に殘酷なる取扱を爲し殆と之が爲めに生命を殆うくするに至りし際幸ひ露國將校の兵を率ゐて來援するものあるに逢ひて纔かに生命を全ふするを得たる由なり

▲旅順新水源地の發見 現在旅順に於ける水道の水源は水師營附近龍眼に在つて水質は良好なるも水量多からざれば新に水源を求むるを要し洽く探撿の結果椅子山の北麓に新水源を發見し目下工事中なるが此方は水量豐富なるを以て十二吋の鐵管を使用する等なれば愈々竣工の曉には新舊水道を合し優に五万人の需要に應ずるを得べしとなり

▲露商の防寒具買入 近來バルヒン以北に於て新たに露軍の根據地を作り極東派遣の兵數を增加す可しとの風聞傳へられると共に北滿の天候は目下寒威日に烈しき爲め防寒具に不足を告げ居れば拔目なき露商は此機會に一攫巨利を博せんと十月末營口に來り戰役中我軍にて鹵獲せる露軍の外套及防寒靴等を買入れんとせるも同地には最早殘留品無きを以て轉じて大連旅順方面に向け出發せりと云ふ

▲露西亞町區號改正 從來大連市露西亞町の地域はイロハを以て區を別ち更らに番號に分ち居たるを以て其の他の不便尠なからざるにより今回滿鐵會社にては之を改正し內地に於ける市町村制に習ひ何町何丁目何番地と改むるの便あるを認め目下民政部に交涉中なりと云ふ

●開城より 昨年の夏頃より以來當地の狀況は非常の勢を以て發展したのだ當時八百の在留民は頓に千三百餘に增加し四十內外の小學兒童は一躍して九十一名となり校舍は新築後一年ならずして敎室の狹隘を告ぐるに至り南門內カーコリ通は日本建の家屋軒を連ねて建設せられ不潔極る韓人街は清淨なる日本町と變化し大和町と命名せらるゝに至りたのも此一年間のことである今の狀態を以て發達するに至らば遠からずして民團法の施設せらるゝに至るは明かであろうと思ふ、暴徒の噂さ喧しきにも拘らず在留民が無事安穩に生活しつゝあるは全く之れ保護機關の備へあるが爲めで當地より四五里乃至七八里の處には暴徒來襲せしこと數回なりしも幸に當地在留民に一人の遭難者を出さゞりしは何よりの慶事で之れ保護の任にある警察及び守備隊の功勞の力である併し韓人中の大地主は收納期に際し彼等に妨げられ之が收納出來ざるを痛嘆し居る者も少ない此等の爲め當地は米穀の出廻り少く豐作なるにも拘らず騰貴するの狀態にあるは甚だ遺憾に堪へず只暴徒の爲め獨り好機を得たのは耶蘇敎會で此前三ケ月に亘る間に於て實に驚くべき多數の信者を得たとのことである(松都生)

●博覽會福引の景況 京城博覽會にては昨日より本日まで二日間每日五千本の福引を行ひしかは已れこそ大福を抽き當てんと待構へ居りしこととて開館となるや待構へたる日韓人は潮の如く崩れ込み各拾錢のれ錢で百圓の福に當るかと云はん計りの面付きにて正門を吾先きと押入り陳列品を見る暇もあらばこそ忽ち裏門外の物品渡所に突進する樣は黑衣白衣交錯して其奇觀仲々言ふばかりなく漸く群衆を分け入り品物渡所に入り持參の籤と引換へ見れば繪葉書や提灯や玩弄の籃などに當り失望の人もあり又はメリヤスシヤツ等に當り福顏なるものもありて千態万狀仲々の盛況にてありし

●店出し 黑眼黑髮の美人は有ふれて客を曳に足らずと感ずつてか否かは樓主其人ならでは知る由もなけれど當地新町の第一樓本店にては過日來何がな一風變りし代物を仕入なばそれが店の呼物となつて粹客の御入來に一入の景氣を添ゆるならんと草を分け穴を探つて詮索の末橫濱市根岸町の染野ナカ(廿六)といふ日本人、米利堅人といふ赤髮碧眼の女性を買ひ入れ名をば大和の花と呼ばるゝ櫻と命しそれと共に同市本牧町の名越ツサ(二十)といふデモ美人をも連れ戾りこれには名を仙人めかした羽衣とつけて昨日より店先に陳列しぬと態々報知する者あり粹士達に内々でこゝに取次ぎ置くべし

**移轉廣告**

從來南山町一丁目日韓印房内に設置しありしか今般貳號發刊と共に業務を擴張し左記の所に移轉候條此段江湖諸君に謹告仕候

京城南山町二(井上宣文邸前)

**朝鮮パック社**

主幹 久本吉次

●北村一座の乘込み 龍山にて開演好評を博しつゝありし新派劇北村生駒の一座は昨日當地に乘り込み本日より本町座に於て開演すると云ふ其藝題及び役割は左の如し

藝題 再生緣 (登場人名いろは順)

| | |
|---|---|
| 問者吉田福松、隼竹造 | 井上資郎 |
| 馬丁音吉、火の番與八 | 新田一夫 |
| 金貸木俣八五郎、篠塚た政 | 西本美好 |
| 乘客川上大五郎 | 大島時男 |
| 眞野夫人高子、品川た熊 | 桂九洲男 |
| 篠塚の娘つる | 橫山研太郎 |
| 眞野歌子 | 吉岡駒男 |
| 戸出巡查、ボーイ藤野 | 谷鶯鳴 |
| 刑事服部 | 中澤歌子 |
| 眞野菊雄 | 保岡茂樹 |
| 召使た梅 | 小泉新太郎 |
| 惡船長赤木要造 | 青木一郎 |
| 警部泉源太郎 | 北山天龍 |
| 加藤兵次 | 三木倢之助 |
| 半玉小花 | 湊富士枝子 |
| 藝妓小米 | 三井武次郎 |
| 木全給吉 | 清水史郎 |
| 八五郎妻たさと | 森亮太郎 |
| 陸軍少將眞野兼之 | 北村生駒 |

●三面痛棒 新町皆春樓主人塚崎由太郎なる者が其菊花陳列の廣告を新聞に廣告し居れるが其文中に何時より何時まで縱覽を許すとあり高が女郎屋の亭主風情にて命令的文を插入して廣く天下に告ぐるとは何れ怪しからぬ痴漢ではないか(憤慨生)▲南山は官有林で韓宮廷にては古來靈山として保護を加へられたので今日の如く鬱蒼たる松林があるのだそれで麓に住んで居る日本人は此山を以て生命とし少しも侵さず官憲もまた侵すを禁し居ることは誰しも知悉し居る筈である然るに統監府囑託の黑田とかいふ男は彼の老人聖壇なる僅か百坪許の地を買つて附近の南山景勝の山林殆んど四萬坪に亘る山林を自已が領域に占め鐵條網を張廻し他の入るを禁じ以て馬田山莊と麗々しく標榜し居れり若し之を默認するとせば吾輩は南山全部に鐵條網を張り其頂上に高大なる邸宅を建てんと思ふが官憲は之を許すや否や(公平子)▲龍山の民團議員撰擧は大變な競爭で到頭十一日無事撰擧を終つたが其結果は所謂民黨の民友派吏黨の正義派とも五人宛にて五分〳〵だが親和派なるプランが二人居る此二人の引張り合が見物だらう序だから痛棒を喰はせて置くが今度の競爭には同地警察の部長とかは利益の爲め干涉をしたとかの噂さがある署長は一つ取調べたらよかろう(中正主義者)▲和城臺の公園は仲々よく設備が出來たが同所に大和心の櫻樹を植へて來春の朝日に匂ふ樣を見たいが一つ如何で御座ろう(居留民)

●土の科料 佐賀縣の者にて京城本町四丁目に寄留し菓子商を營める貞島品吉(四十)は店前の街路に粘土を蓄積し行人の妨害をなすより巡邏の警官屢々說諭すれども辭を左右に托して敢て取合はざるより昨十二日品吉は科料三十錢に處せられたり

●メッヂスト敎會の大傳道會 去月三十日仁川を初め鎭南浦平壤等に於て大傳道會を開きし同派は各處共非常なる盛況なりしを以て當地旭町二丁目に於ける同派の敎會も來十四日より同樣の傳道會を開く筈なり因に出席敎師は中山忠恕、釘宮辰生の二氏にて來韓中のハリス老博士も之れに加はる都合なりといふ

**見習生募集廣告**

活版見習生 男子にして滿十一歲以上十六歲以下
解版見習女工 滿十一歲以上十六歲以下

市内に確實なる保證人を要す
見習中日給は十五錢以上三十錢迄を給す

京城 **日韓圖書印刷株式會社**

**貸家**

京城大和町二川端土地高燥清潔日本間と温突勝手よし家賃金貳十圓

京城民役所前角 京城興信所支局

廣告

**龍山病院**

入院隨意 貧民施療

龍山梅町

電話一〇〇番

**新柄着荷**

嶄新流行の高等洋服地荷着仕候間親切叮嚀を旨とし大勉强廉價を以て精々迅速に調進可仕候

龍山榮町

**田口洋服店**

空前絕後 **旅順口大連灣大パノラマ開館**廣告

一、本館ハ京城大漢門側ニ建設シ十一月二日ヨリ晝夜開館

**觀覽料**

〇貳拾五錢 (軍人及學生は半額)
〇貳十錢 (五十人以上ノ團體)

**營業科目**

活版活字鑄造
石版銅版
コロタイプ
彫刻諸印刷
諸帳簿
製本裝釘

本社 京城西署西小門内 (電話三二三番)

仁川出張所 仁川港海岸埋築地 (電話仁川一五五番)

東京出張所 東京市京橋區南鍋町一丁目十番地 (電話新橋三九六二番)

**日韓圖書印刷株式會社**

**和洋金物商**

**金物部**

洋釘 洋鑄鋼類
土工用具類
金物類一式
諸種油器類

京城本町五丁目

**藤本藤次郎本店**

長電四五番

**卸部**

トタン平浪板(廿六番廿八番卅番) 各種
精糖メリケン粉
和洋紙類
金庫及度量衡

**韓國唯一漫畫雜誌**

十一月十三日發行 **第貳號**

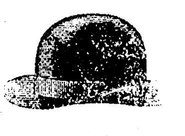
定價八錢

『御役所の晝夜』『大屋さんの居眠り』『京城の放尿嚴禁』『衛實衛の流行』(理科讀本)『新韓料勿驚十三萬圓』『手長の韓人』『副統監の着任前後』『日坊の滿韓金儲け』『昨今の京城』『テレ助の失敗』『韓妻の末路』『嗅ひものづくし』『朝鮮風俗第二集田舍の夕照』

表紙 **東天旭光、** 中畫 **兩農嘆聲**

『パックの京城』『樂天君と花月藝者』『白鼠の神詣』『小女を統監に献げん』『本紙に對する批評の批評』『暗筆錄』『韓婦の頓智』『宮中の御戲れ』『闇黑の鐵道管理局』『珍案パック式よんどー(人助けの爲め)』『**京仁見立番附**』『韓國全線滊車時間表』『珍な雜報』『なかきせる』

京城南小門町二丁目 **朝鮮パツク社**



**帽子類毛布類其他冬物各種直輸入着荷**

京城本町三丁目 **龜屋商店**

安東縣 **龜屋商店** 平壤 **龜屋商店**

**特約販賣**

**一羅紗毛織物類 並に洋服地附屬品**

羅紗類直輸入販賣業

**奥田醬油部** (電三百五番)

仁川港宮町二丁目

**奥田商店羅紗部** (電話五百十番)

仁川港日本居留地本町一丁目六十號地

**濃口 薄口**

其他清酒各種

**日本醬油會社製品**

**京城博覽會 名譽賞金牌受領**

**織物各種**

君ケ代足袋發賣元

韓國京城本町四丁目

**山口呉服店**

電話九番

尚は各位の御厚志に酬ひん爲め今後益々品質を精撰し一層勉强仕候間不相變御引立の程奉懇願候

**電話貳貳八番**

**開通**

**一陸送運搬請負**

今般電話開通致候に就ては親切叮嚀を旨とし御便宜を計り精々勉強仕候間倍々御用命の程伏て願上候

京城南大門外一丁目

**姫野荷馬車部**

---

海軍御用達
大阪商船株式會社仁川支店
專屬荷客仲次店
日本海上運送保險株式會社
仁川代理店

(さ) **慶田組輸出部**

仁川本町壹丁目
電話四十二番
電信符號ケイタ又ハケ

---

大阪商船株式會社仁川支店
專屬荷客取扱
通關並に鐵道運送
帆船運送艀舟業

(さ) **慶田組荷捌部**

仁川海岸通
電話七十二番
電信符號ケイタ又ハケ

---

(さ) **慶田組濱出張所**

電話二百七十八番

---

(さ) **慶田組京城出張所**

京城南大門外二丁目
電話九百四十九番

---

本店　仁川理事廳通（電話三二番）

**原金旅館**

支店　京城南山町（電話一〇七番）

---

入院隨意

**京城醫院**

京城壽町一丁目
電話七四二番

---

南山町一丁目（植村病院前）

貸席待合 **大乃花**

客室は清潔にして叮嚀なるは本店の特色に御座候

---

本店

東京市日本橋區兜町

內地支店及出張所
大阪、京都、横濱、神戶、名古屋、四日市、下關、兵庫、伏見、大阪西區、東京新大阪町

韓國支店及出張所
仁川、釜山、元山、鎭南浦、木浦、群山、平壤、大邱、開城、城津、成興、馬山、鏡城

淸國出張所
安東縣

株式會社 **第一銀行京城支店**

電話番號
營業部　一一番
當直用　一一番
營業部　同三三番
國庫部　六二一番
用度係　六二二番
分析所　六二二番

總支配人　市原盛宏
副支配人　三島太郎
國庫部長　竹山純平
副支配人
調査部長
營業部長　木村雄次

---



●資本金五百萬圓

**横濱火災海上運送信用保險株式會社**

●諸積立金百四十餘萬圓

大阪市東區高麗橋
仁川代理店

**大阪支店**
**秋田商會**

（電話一七三二一六）

---

銀行一般の業務精々御便利に御取扱可申候

本店　大阪市西區北堀江通五丁目
支店　釜山、仁川、平壤、鎭南浦、安東縣

資本金三百万圓

株式會社 **第五十八銀行京城支店**

（電話五八番）

爲替取組先

| | | |
|---|---|---|
| 東京 | 二十七ケ所 | 東海道 | 
| 山陽 | 十三ケ所 | 北陸道 |
| 南海 | 七十五ケ所 | 山陰道 |
| 北海道 | 二十三ケ所 | 西海道 |
| 臺灣 | 五ケ所 | 韓國 |
| | 二ケ所 | 清國 |

二十八ケ所　十ケ所　三十三ケ所　九ケ所　一ケ所

---

銀行一般業務精々御便利に取扱申候

資本金　參百萬圓
積立及繰越金　七拾貳萬圓

株式會社 **十八銀行京城支店**

京城南大門通（電話四二〇）

本店　長崎市築町
支店出張所
韓國　京城、仁川、釜山、羅州、木浦、群山、元山、龍山
日本　大阪、熊本、佐世保、嚴原、五島、壹岐

其他日本韓國樞要地及露領浦鹽に爲替取引先あり

貯蓄預金（一口壹錢以上何程にても御預り申候）（利息日歩壹錢四厘）

長崎貯蓄銀行代理店（十八銀行京城支店）

---

綿類卸

兵庫新蒲園

**唐川商店**

京城明治町二丁目

---

東京 **熊平製造金庫**
東京 **竹內製金庫**
大阪二重瓶
特許二回轉式 **消火器**

韓國販賣部

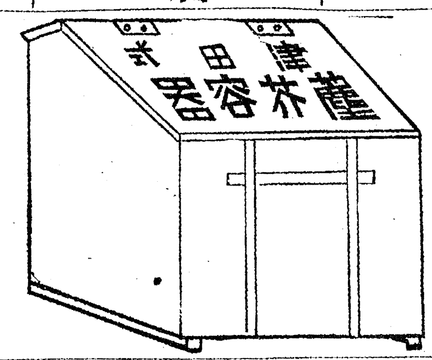
**熊平支店**

京城本町一丁目
電話六二四番

---

**急告**

京城理事廳令達第四號に基きたる塵芥容器は京城民團役所の檢定を經て多數製作罷在左記大廉價にて販賣可仕候間此際陸續御用命伏て奉希候




價格寸法

一號　金四圓八拾錢　横二尺二寸　高二尺八寸　巾三尺五寸

二號　金三圓八十錢　横一尺八寸　高二尺五寸　巾三尺

三號　金二圓八十錢　横一尺五寸　高二尺四寸　巾二尺五寸

四號　金一圓八十錢　横一尺一寸　高一尺九寸　巾二尺

發賣元

京城南大門外（鐵道管理局前）

**東京伊藤出張所**

塵芥容器製作工場

京城西小門內

---

**菊花壇**

珍無類最上等 **菊苗特約販賣廣告**

菊百二拾餘種　苗壹本五拾錢以上拾五圓迄

右は從來京城に有觸れたる菊花と異なり東京某伯爵御秘藏の菊花なるも拙者申受け本年京城に於て培養したるに驚く可き天下の逸品にして奇花妙花珍花今を全盛に咲き競ひ與に愛菊家諸氏の目を驚かすべき無類の絶品と確信致し候

現に我祖國に於ても貴顯紳士の外觀る事を得ざる菊花中の逸品より尚ほその翠を抜きたるもの京城在來の菊花と同視する勿れ

京城新町 **皆春樓及大樹屋**

論より證據

上に菊花壇を作り兩家共數百鉢を陳列致置き縱覽に供し候に付き御一覽の上御希望の種類丈け御申込被下度

午前十時より午後四時まで縱覽を許し候に付き御婦人方御同道御差繰り御觀覽の上一日の御淸遊あらん事を希望致候

御注文に依り御一人前金貳拾錢の茶菓差出し候

御會席は御一人金壹圓五拾錢にて山海の珍味を供し候

御參考

十一月二日

京城新町草花育種園主　塚崎由太郎

---

一石炭
一セメント
一パインアップル

**三井物産合名會社**

**京城出張所**（電話二十六番）

**仁川出張所**（電話六十三番）

右新荷着仕候間多少に不拘御用命願上候

---

紙函製造業

紙製品應需

**鼎商會**

京城石井洞

---

香港上海銀行
露清銀行
代理店

英商 **ホームリンガ商會仁川支店**

（電話三八番）

販賣品項目

●洋反物類、毛織物類、シャツ
●埃及煙草、洋酒類、ビスケット、罐詰類
●諸機械類、ストーブ、裁縫機、電氣機械
●レール、機關車、客車、鐵道用諸機械類
●洋鐵鋼、亞鉛引浪平板、洋釘、垣用線電線、ワイヤロップ
●ペンキ油類、硝子板、セメント、米利堅松、月印曹達、獅子印洋蠟、麥粉

---

宿泊宴會玉突

**日本人俱樂部**

京城南山町三丁目（電話一二三番）

---




**協同組濱船元扱**

**仁川出帆廣告**

仁川海岸通
電話五二
**協同組回漕店**

京城南大門外通
電話七〇三
電話一四三
**協同組支店**

●門司神戶大阪行　甲駿丸　十一月日午後四時出
●門司行　九州丸　十一月九日後四時出
●鎭南浦行　乾坤丸　十一月日後四時出
●仁川龍山線（漢津富里浦嶼串浦行）三省丸　陰曆毎月一、六の日朝出
●仁川海美線大湖芝行　三省丸　陰曆毎月四、九の日朝出
●仁川港內曳船の依頼に應ず

右航路以外何れの地方にも確實なる取引店有之候に付海陸運送連絡運送并に當地稅關輸出入手續共懇切御便利に取扱仕候

---

**大阪商船株式會社**

**仁川濱出帆廣告**

仁川支店
電話一二二番

切符發賣所
仁川稅關波止場出張所
京城本町通り角發賣所
電話六五番
荷客扱店慶田組
電話四二番

●關門、神戶、大阪行　安平丸　十一月日前十時出
●關門、宇品、神戶、大阪行　京城丸　十一月十二日前十時出
●成興丸　十一月十八日前十時出
●群山、木浦、馬山、釜山、關門、神戶、大阪行　本浦丸　十一月日後五時出
●群山丸　十一月十五日後五時出
●群山、木浦、馬山、釜山、關門、神戶、大阪行　千賀丸　十一月十九日後五時出
●筑後川丸　十一月十二日後五時出
●木浦、釜山、嚴原、鄕之浦、長崎行　木曾川丸　十一月十日後二時出
●長崎行　信濃川丸　十一月十一日後二時出
●鎭南浦、大連行　木曾川丸　十一月十三日前十時出
●信濃川丸
●鎭南浦、龍岩浦、安東縣行　成興丸　十一月十一日後一時出

---

**日本郵船株式會社**

**仁川濱出帆廣告**

貨物及船客取扱店

仁川海岸通
**郡回漕店**
電話三九番

京城南大門通
**巴商會**
電話三〇六番

●群山、木浦、釜山、門司、神戶、大阪行　浦汐丸　十一月十四日後一時出
●第一オハヨ號　十一月十九日前九時出
●大連、大沽行　第一オハヨ號　十一月日後三時出
●酒田丸　十一月十日後三時出
●高砂丸　十一月二十八日後一時出
●鎭南浦、安東縣行　第一オハヨ號　十一月日後三時出
●元山、城津、浦鹽行　淡路丸　十一月十四日後三時出
釜山出帆

注意　御乘船ノ際ハ稅關波止場ヨリ本船迄御送迎可申候送迎船ハ本船出帆ノ約五十分前ニ艀艘ノ事